



山下 清海先生 近影

山下 清海先生 履歴

学 歴

- 1970年 3月 福岡県立修猷館高等学校卒業
- 1971年 4月 東京教育大学理学部地学科地理学専攻入学
- 1975年 3月 東京教育大学理学部地学科地理学専攻卒業
- 1975年 4月 筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻入学
- 1978年11月 文部省アジア諸国等派遣留学生（1980年11月まで）
シンガポール, 南洋大学 Nanyang University 地理系留学
- 1982年 4月 筑波大学大学院博士課程地球科学研究科地理学・水文学専攻単位修得退学

学 位

- 1982年 3月 理学修士（筑波大学）
修士論文「横浜中華街の研究」
- 1986年 3月 理学博士（筑波大学）
博士論文
“A geographical study on the segregation of Chinese dialect groups in Singapore”
(シンガポールにおける華人方言集団のすみわけに関する地理学的研究)

専門分野

人文地理学, エスニック地理学, 華僑・華人研究, 東南アジア・中国地域研究

職歴等

- 1982年 4月 筑波大学地球科学系準研究員（文部技官）
- 1983年 4月 秋田大学教育学部講師
- 1985年10月 秋田大学教育学部助教授
- 1992年 8月 秋田大学教育学部教授
- 1994年 6月 文部省在外研究員（1995年 2月まで）
カリフォルニア大学バークリー校 Asian American Studies 客員研究員

1997年4月 東洋大学国際地域学部教授
2004年4月 筑波大学大学院生命環境科学研究科教授
2005年4月 筑波大学生命環境系教授
2017年4月 立正大学地球環境科学部地理学科教授（2022年3月まで）

〔非常勤講師〕

北海道教育大学釧路分校
秋田大学教育学部
聖霊女子短期大学
山形大学教育学部
群馬大学教育学部
筑波大学大学院地球科学研究科・人文社会科学研究科・教育研究科
埼玉大学教養学部
お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科
慶応義塾大学文学部
東京大学大学院総合文化研究科
東京学芸大学教育学部
東京外国語大学外国語学部
東京都立大学理学部
東洋大学国際地域学部
法政大学国際文化学部・大学院人文科学研究科
立教大学観光学部・大学院文学研究科
早稲田大学教育学部・大学院教育学研究科
名古屋大学文学部・大学院環境科学研究科
金沢大学教育学部
京都大学文学部・大学院文学研究科
立命館大学国際関係学部
関西大学大学院文学研究科
奈良女子大学大学院人間文化研究科
広島大学大学院文学研究科

学内委員

2018年4月 環境科学研究所長（2022年3月まで）
2018年4月 学生生活委員会委員（2022年3月まで）

受賞歴

2006年3月 2005年度日本地理学会賞（優秀賞）
2012年6月 2012年度地理空間学会学術賞
2013年3月 2012年度日本地理学会賞（著作発信部門）
2016年3月 日本地理学会永年会員功労賞
2017年11月 2017年人文地理学会賞（一般図書部門）

学会活動

1975年4月～現在 日本地理学会会員

1975年4月～現在	人文地理学会会員
1981年4月～現在	経済地理学会会員
1983年4月～現在	東北地理学会会員
1985年4月～現在	日本地理教育学会会員
1998年4月～2016年3月	歴史地理学会会員
2003年3月～現在	日本華僑華人学会会員
2006年4月～2008年3月	日本地理学会 編集専門委員長
2008年4月～現在	地理空間学会会員
2008年7月～2016年6月	地理空間学会 常任委員長
2009年12月～2011年11月	日本華僑華人学会 会長
2010年4月～2014年3月	日本地理学会 総務専門委員長
2014年4月～2018年3月	日本地理学会 監事
2016年10月～現在	人文地理学会 代議員
2017年4月～現在	立正地理学会会員
2019年4月～2022年3月	日本地理学会 地域調査士認定委員会委員
2020年7月～2022年6月	地理空間学会 会計監査

社会活動

2010年8月～2011年7月	日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 及び国際事業委員会書面審査員
2011年12月～2013年11月	日本学術振興会 科学研究費委員会専門委員
2016年8月～2017年7月	日本学術振興会 特別研究員等審査会専門委員 及び国際事業委員会書面審査員
2018年6月～2018年11月	日本学術振興会 国際科学研究費委員会専門委員

研究業績 (主要なもののみ抜粋)

〔著書 (単著・単編著)〕

- 山下清海 (1987) : 『東南アジアのチャイナタウン』 古今書院, 201p.
- 山下清海 (1988) : 『シンガポールの華人社会』 大明堂, 163p.
- 山下清海 (1997) : 『ふるさとのからし 日本のまちとむら 4 米づくりのむら』 小峰書店, 55p.
- 山下清海 (2000) : 『チャイナタウン—世界に広がる華人ネットワーク』 丸善 (丸善ブックス), 208p.
- 山下清海 (2002) : 『東南アジア華人社会と中国僑郷—華人・チャイナタウンの人文地理学的考察』 古今書院, 190p.
- 山下清海編 (2005) : 『華人社会がわかる本—中国から世界へ広がるネットワークの歴史, 社会, 文化』 明石書店, 244p.
- 山下清海編 (2008) : 『エスニック・ワールド—世界と日本のエスニック社会』 明石書店, 260p.
- 山下清海 (2010) : 『池袋チャイナタウン—都内最大の中華街の実像に迫る』 洋泉社, 191p.
- 山下清海編 (2011) : 『現代のエスニック社会を探る—理論からフィールドへ』 学文社, 213p.
- 山下清海編 (2014) : 『改革開放後の中国僑郷—在日老華僑・新華僑の出身地の変容』 明石書店, 278p.
- 山下清海編 (2016) : 『世界と日本の移民エスニック集団とホスト社会—日本社会の多文化化に向けたエスニック・コンフリクト研究』 明石書店, 332p.
- 山下清海編 (2016) : 『新・中華街—世界各地で〈華人社会〉は変貌する』 講談社 (選書メチエ), 214p.
- 山下清海 (2019) : 『世界のチャイナタウンの形成と変容—フィールドワークから華人社会を探究する』 明石書店, 326p.
- 山下清海 (2021) : 『横浜中華街—世界に誇るチャイナタウンの地理・歴史』 筑摩書房 (筑摩選書), 283p.

〔著書（共著・分担執筆）〕

- 田林 明・山下清海・渡辺恭男・大嶽幸彦・菅野峰明（1978）：田牛一漁業の変遷と漁家の分化. 尾留川正平・山本正三編：『沿岸集落の生態—南伊豆における沿岸集落の地理学的研究』二宮書店, 90-112.
- 山下清海（1980）：砂勞越華人籍貫の人口分布与経済活動〔中国語論文〕（サラワク華人方言集団の人口分布と経済活動）. 南洋大学地理系編：『砂汶沙文化考察団報告書』南洋大学地理系, 33-38.
- 山本正三・田林 明・山下清海（1984）：九重飯田高原における生業形態. 市川健夫・山本正三・斎藤 功編：『日本のブナ帯文化』朝倉書店, 283-301.
- 山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫（1987）：阿武隈山地における後背農村. 山本正三・北林吉弘・田林 明編：『日本の農村空間』古今書院, 266-287.
- 山下清海（1991）：横浜中華街と華僑社会—開港から第二次世界大戦まで. 山本正三編：『首都圏の空間構造』二宮書店, 211-220.
- 山下清海（1991）：チャイナタウンの景観と華人の生態. 戴 國輝編：『もっと知りたい華僑』弘文堂, 59-75.
- 山下清海（1991）：中国の農業地域—黄土高原の商業的作物の拡大. 農業地域システム研究会編：『世界の農業地域システム』大明堂, 40-52.
- 山下清海（1992）：ブルネイの地域性と華人社会の特色. 今富正巳先生古希記念論文集刊行会編：『馬華文学とその周辺』三冬社, 136-149.
- 山下清海（1992）：シンガポールの近代化と華人社会. 日中地理学会議編：『アジアの都市と人口』古今書院, 151-164.
- 高橋伸夫・山下脩二・菅野峰明・手塚 章・山下清海（1993）：『世界地図を読む—図説世界地理』大明堂, 209p.
- 山下清海（1996）：趨向観光地区化的日本唐人街〔中国語論文〕（観光地化にともなう日本のチャイナタウン）. 蕭効欽・李定国編：『世界華僑華人経済研究』汕頭大学出版社, 汕頭（スワトウ）, 114-119.
- 山下清海（1996）：世界に広がる華人社会. 高橋伸夫・谷内 達・阿部和俊・佐藤哲夫編：『ジオグラフィー入門—地理学でみる日本と世界』古今書院, 104-107.
- 山下清海（1996）：福建省における華僑送出地域（僑郷）の地理学的考察—その地域的特色と移住先との結びつき. 可児弘明編：『僑郷華南—華僑・華人研究の現在』行路社, 38-55.
- 山下清海（1999）：日本唐人街之観光地区化的進展〔中国語論文〕（日本におけるチャイナタウンの観光地化の進展）. 陳鴻瑜主編：『邁向21世紀海外華人市民社会之變遷與發展』中華民國海外華人研究学会, 73-85.
- 山下清海（2002）：八郎潟干拓で誕生したモデル農村 秋田県大潟村. 平岡昭利編：『東北—地図で読む百年』古今書院, 89-96.
- 山下清海（2003）：華人社会と地理学. 高橋伸夫編：『21世紀の人文地理学展望』古今書院, 437-446.
- 山下清海（2003）：東南アジアの華人社会とチャイナタウン. 藤卷正己・瀬川真平編：『現代東南アジア入門』古今書院, 34-48.
- 山下清海（2003）：地域調査法. 村山祐司編：『地域研究』朝倉書店, 53-79.
- 山下清海（2007）：東南アジアへの華人の移住. 石原 潤・金坂清則・南出眞助・武藤 直編：『アジアの歴史地理 1 領域と移動』朝倉書店, 242-251.
- 山下清海（2007）：東京のエスニックタウンを歩こう. 松岡憲知ほか編『地球環境学』古今書院, 100-102.
- 山下清海（2008）：八郎潟干拓地. 平岡昭利編：『地図で読み解く日本の地域変貌』海青社, 62-65.
- 山下清海（2009）：中国. 中村和郎・高橋伸夫・谷内 達・犬井 正編：『地理教育講座第Ⅲ巻 地理教育と地図・地誌』朝倉書店, 709-718.
- 山下清海（2009）：東南アジアの華人社会とチャイナタウン. 藤卷正己・瀬川真平編：『現代東南アジア入門 改訂版』古今書院, 38-52.
- 山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫（2012）：阿武隈高原南部における小農複合経営の展開. 山本正三・田林 明・菊地俊夫編：『小農複合経営の地域的展開』二宮書店, 18-62.
- 山本正三・田林 明・山下清海（2013）：九重山北麓飯田高原における土地利用と集落の発展. 山本正三・田林

- 明・菊地俊夫編：『小農複合経営の地域的展開』二宮書店, 63-103.
- 山下清海 (2013)：東京のエスニックタウン—池袋チャイナタウン. 山本正三・谷内 達・菅野峰明・田林 明・奥野隆史編：『日本の地誌2 日本総論II (人文・社会編)』〔第2刷 (追補版)〕, 朝倉書店, 575-579.
- YAMASHITA, Kiyomi (2013)：Ikebukuro Chinatown in Tokyo: The first “new Chinatown” in Japan. Wong, Bernard P. and Tan Chee-Beng eds.: *Chinatowns around the world: Gilded ghetto, ethnopolis, and cultural diaspora*. Brill, Leiden, 247-262.
- 山下清海 (2013)：オールドカマー・ニューカマー. 人文地理学会編：『人文地理学事典』丸善出版, 378-379.
- 山下清海 (2014)：東南アジアとオセアニアの華人社会. 菊地俊夫・小田宏信編：『東南アジア・オセアニア (世界地誌シリーズ7)』朝倉書店, 31-32.
- 山下清海 (2014)：池袋の新華僑と世界の中国人ニューカマー. 別冊『環』, 20「なぜ今, 移民問題か」, 藤原書店, 203-208.
- 山下清海 (2017)：ブルネイ (ほか6項目). 秋山元秀・小野有五・熊谷圭知・中村泰三・中山修一編：『世界地名大事典1 アジア・オセアニア・極 I』朝倉書店および『世界地名大事典2 アジア・オセアニア・極 II』朝倉書店.
- 山下清海 (2017)：チャイナタウン, チャイナタウンの政治問題化, サンパウロの東洋街, 世界各国のチャイナタウンにある華僑華人博物館 (各項目を執筆). 華僑華人の事典編集委員会編：『華僑華人の事典』丸善出版.
- 山下清海 (2018)：世界の華人とチャイナタウン. 矢ヶ崎典隆・山下清海・加賀美雅弘編：『グローバリゼーション—縮小する世界』(シリーズ地誌トピックス1) 朝倉書店, 13-21.
- 山下清海 (2018)：サンフランシスコのチャイナタウン—アメリカ華人の博物館として. 矢ヶ崎典隆編：『移民社会 アメリカの記憶と継承—移民博物館で読み解く世界の博物館アメリカ』学文社, 232-253, および「コラム メリケン国の華人博物館」254-255.
- 山下清海 (2019)：中国人. 石川義孝編：『地図でみる日本の外国人 改訂版』ナカニシヤ書店, 20-21.
- 山下清海著, 張倍瑜訳 (2019)：東京の池袋唐人街：日本の第一個“新式唐人街”〔中国語訳〕. 王保華・陳志明編, 張倍瑜訳：『唐人街 鍍金の避難所, 民族城邦和全球文化流散地』華東師範大学出版社, 上海, 361-382.
- 山下清海 (2019)：多民族社会を体感する—マレーシア・シンガポールの8日間. 島津 弘・伊藤徹哉・立正大学地理学教室編：『地理を学ぼう 海外エクスカーション』朝倉書店, 48-53.
- YAMASHITA, Kiyomi (2021)：Chinese enclaves: Formation of new Chinatowns by Chinese newcomers. ISHIKAWA, Yoshitaka ed. *Ethnic enclaves in contemporary Japan*. Singapore: Springer, 45-70.

〔監修〕

- 山下清海監修 (1992)：『ふるさと日本全国市町村大事典 秋田県』ぎょうせい, 277p.
- 島津 弘・山下清海・伊藤徹哉・小松陽介・鈴木厚志・貝沼恵美監修 (2019)：『ポプラディア プラス 世界の国々』(全5巻) ポプラ社.

〔論文〕

- 山下清海 (1979)：横浜中華街在留中国人の生活様式. 人文地理, **31**, 321-348.
- 山下清海 (1980)：急変するシンガポール華人社会—言語, 教育を中心として. アジア文化, **5**, 76-82.
- 山本正三・田林 明・山下清海 (1982)：九州における高冷地の土地利用と集落の発展—九重山北麓飯田高原の場合. 人文地理学研究, **6**, 65-116.
- 山下清海・黎 経富・工藤康子 (1982)：出島村における伝統的家屋景観の変容. 霞ヶ浦地域調査報告, **4**, 29-37.
- YAMASHITA, Kiyomi (1982)：Chinese dialect groups and their distribution patterns in Southeast Asia: The case of Sarawak, East Malaysia. *Annual Report of the Institute of Geoscience, University of Tsukuba*, **8**, 25-28.
- 山下清海 (1982)：東マレーシア・サラワク州における華人方言集団の分布パターンの形成. 地学雑誌, **91**, 332-353.

- 山下清海 (1983) : 第二次世界大戦前, シンガポールにおける華人方言集団の居住パターン. 人文地理学研究, **7**, 27-52.
- 山下清海・黎 経富 (1983) : 水郷地域における農村景観の変容—東村佐原組新田の場合. 霞ヶ浦地域調査報告, **5**, 63-73.
- 山本正三・石井英也・山下清海・村山祐司・菊地俊夫 (1984) : 阿武隈高原における小農複合経営の展開—福島県東白川郡鮫川村の場合. 人文地理学研究, **8**, 59-120.
- 山下清海 (1984) : 民族集団のすみわけに関する都市社会地理学的研究の展望. 人文地理, **36**, 312-326.
- 山下清海 (1985) : シンガポール華人移民の適応様式—海南人の場合. 秋田大学教育学部研究紀要 (人文科学・社会科学), **35**, 141-155.
- 山下清海 (1985) : シンガポールにおける華人方言集団のすみわけとその崩壊. 地理学評論, **58**, 295-317.
- YAMASHITA, Kiyomi (1986) : The residential segregation of Chinese dialect groups in Singapore: With focus of the period before ca.1970. *Geographical Review of Japan, Ser.B*, **59**, 83-102.
- YAMASHITA, Kiyomi (1987) : Breakdown of the residential segregation of dialect groups in Singapore. *Science Report Institute of Geoscience, University of Tsukuba, Sect.A*, **8**, 129-146.
- 山下清海 (1987) : 中国甘肅省蘭州の地誌学的考察—黄土高原, 黄河上流の都市の地域性. 秋田大学教育学部研究紀要 (人文科学・社会科学), **37**, 101-114.
- 山下清海 (1987) : 八郎潟中央干拓地・大潟村における農業景観と土地利用. 秋大地理, **34**, 19-26.
- 山下清海 (1988) : 雪国に関する人文地理学的研究の展望. 秋田大学教育学部研究紀要 (人文科学・社会科学), **38**, 247-257.
- 山下清海 (1990) : 僑郷としての広東省潮州地方の社会地理学的研究—華僑送出地域と東南アジア華人社会との結びつき. 秋田大学教育学部研究紀要 (人文科学・社会科学), **41**, 149-159.
- 山下清海 (1990) : 東マレーシア, サバ州サンダカンにおける華人系カカオ・プランテーション農業. 秋田大学一般教育総合科目研究紀要 諸民族の社会と文化, **1**, 23-36.
- 山下清海 (1992) : 第二次世界大戦後, 日本における東南アジアの地理学的研究—その成果と課題. 経済地理学年報, **38**, 37-50.
- 山下清海 (1992) : 新加坡華人方言集団居住型態の形成及変化 [中国語論文] (シンガポール華人方言集団の居住形態とその変化). 汶萊 (ブルネイ) 客属公会三十週年紀念特刊, 134-141.
- 山下清海 (1993) : 日本における中華街の形成と発展—「エスニック・タウン」の観光地化. 都市経済研究, **2**, 59-66.
- 山下清海・秋田大学地理学研究室学生 (1997) : 横浜中華街と大久保エスニックタウン—日本における新旧2つのエスニックタウン. 秋大地理, **44**, 57-68.
- 山下清海 (1998) : 東南アジア華人の食文化に関する地理学的考察—シンガポール・マレーシアを中心に. 国際地域学研究, **1**, 119-129.
- 山下清海 (2001) : 韓国華人社会の変遷と現状—ソウルと仁川の元チャイナタウンを中心に. 国際地域学研究, **4**, 263-275.
- 山下清海 (2002) : 地図からみた東南アジアへの華人の移住とチャイナタウンの形成. 国際地域学研究, **5**, 229-241.
- YAMASHITA, Kiyomi (2003) : Formation and development of Chinatown in Japan: Chinatowns as tourist spots in Yokohama, Kobe and Nagasaki. *Geographical Review of Japan*, **76**, 910-923.
- 江 衛・山下清海 (2005) : 公共住宅団地における華人ニューカマーズの集住化—埼玉県川口芝園団地の事例. 人文地理学研究, **29**, 33-58.
- 山下清海 (2006) : ラオスの華人社会とチャイナタウン—ビエンチャンを中心に. 人文地理学研究, **30**, 127-146.
- 駒木伸比古・李 虎相・藤野 翔・山下清海 (2006) : 都市システムからみた九十九里地域における茂原市の中心性とその変容. 地域研究年報, **28**, 1-23.

- 山下清海 (2007) : 第二次世界大戦後における東京在留中国人の人口変化. 人文地理学研究, **31**, 97-113.
- 山下清海 (2007) : ブラジル・サンパウロー東洋街の変容と中国新移民の増加. 華僑華人研究, **4**, 81-98.
- 久保倫子・浅井崇俊・久保陽平・岩永初花・高松大樹・中村文宣・藤田和史・山下清海 (2008) : 筑西市下館地域における宅地化の進展過程—住宅地景観と住民属性に着目して. 地域研究年報, **30**, 69-107.
- 山下清海 (2009) : インドの華人社会とチャイナタウン—コルカタを中心に. 地理空間, **2**(1), 32-50.
- 鈴木富之・中村文宣・池田真利子・福田綾・長坂幸俊・山下清海 (2010) : 成田空港周辺におけるインバウンド観光の地域特性—宿泊施設の経営と外国人旅行者行動の分析を通して. 地域研究年報, **32**, 135-165.
- 山下清海・小木裕文・松村公明・張貴民・杜国慶 (2010) : 福建省福清出身の在日新華僑とその僑郷. 地理空間, **3**(1), 1-23.
- YAMASHITA, Kiyomi (2011) : Ikebukuro Chinatown in Tokyo: The first new Chinatown in Japan. *Journal of Chinese Overseas*, **7**(1), 114-129.
- 齋藤讓司・市川康夫・山下清海 (2011) : 横浜における外国人居留地および中華街の変容. 地理空間, **4**(1), 56-69.
- 中村文宣・神谷隆太・大谷万里絵・鈴木将也・福井一喜・山下清海 (2012) : 日立市の機械金属工業における中小企業の自立化. 地域研究年報, **34**, 137-160.
- 小野澤泰子・大道寺聡・橋本操・巖 婷婷・陳麗娜・盧柳松・大石貴之・山下清海 (2012) : 日立市における商業構造の変容. 地域研究年報, **34**, 161-180.
- 山下清海・小木裕文・張貴民・杜国慶 (2012) : 浙江省温州市近郊青田県の僑郷としての変容—日本老華僑の僑郷からヨーロッパ新華僑の僑郷へ. 地理空間, **5**(1), 1-26.
- 市川康夫・周雯婷・金子愛・高橋敦・劉玲・中村明史・山下清海 (2013) : 地方小都市における商業の役割と機能—富山県入善町中心市街地を事例に. 人文地理学研究, **33**, 29-66.
- 山下清海・小木裕文・張貴民・杜国慶 (2013) : ハルビン市方正県の在日新華僑の僑郷としての発展. 地理空間, **6**(2), 95-120.
- YAMASHITA, Kiyomi (2013) : A Comparative study of Chinatowns around the world: Focusing on the increase in new Chinese immigrants and formation of new Chinatowns. *Japanese Journal of Human Geography* (人文地理), **65**(6), 527-544.
- 山下清海 (2014) : 華人社会・チャイナタウン研究からみたフィールドワークの方法—体験から考える. 人文地理学研究, **34**, 73-85.
- 池田真利子・金延景・落合李愉・堀江瑤子・山下清海・森誠 (2014) : 常総市における日系ブラジル人の就業・生活形態の地域的特性—リーマンショックおよび震災後の変容に着目して. 地域研究年報, **36**, 55-90.
- 福井一喜・神文也・渡邊瑛季・周軼飛・薛琦・中川紗智・市川康夫・山下清海 (2014) : 需給チャネルからみた首都圏外縁部中心市街地の商業特性—茨城県水海道地域を事例に. 地域研究年報, **36**, 1-34.
- 山下清海 (2015) : モーリシャスにおける華人社会の変容とポートルイスのチャイナタウンの地域的特色. 立命館国際研究, **27**(4), 115-139.
- 渡邊瑛季・阿部依子・伊藤瑞希・猪股泰広・王瑩・名倉一希・松原伽那・山下清海 (2016) : 茨城県大洗町における海浜観光地域の継続的発展要因. 地域研究年報, **38**, 1-29.
- 金延景・栗林慶・川口志のぶ・包慧穎・池田真利子・山下清海 (2016) : 茨城県大洗町における日系インドネシア人の定住化要因—水産加工業における外国人労働者の受け入れ変遷の分析を中心に. 地域研究年報, **38**, 31-59.
- 山下清海 (2017) : 増加・多様化する在留外国人—「ポスト中国」の新段階の変化に着目して. 地理空間, **9**(3), 249-265.
- 山下清海 (2017) : サンフランシスコにおけるチャイナタウンの形成と変容—ゴールドラッシュからニューチャイナタウンの形成まで. 人文地理学研究, **37**, 1-18.
- 山下清海 (2019) : 南アフリカ, ヨハネスブルグのチャイナタウンの形成と変容—新旧のチャイナタウンの比較研

究. 地球環境研究, **21**, 63-74.

山下清海 (2020): 地域活性化におけるエスニック資源の活用に関する研究の意義—特集号の趣旨. 地理空間, **13**(3), 139-141.

山下清海 (2020): 日本の地域活性化におけるエスニック資源の活用要件—中華街構想の問題点と横浜中華街の実践例を通して. 地理空間, **13**(3), 253-269.

山下清海 (2020): 地域活性化におけるエスニック資源の活用—特集号の総括にかえて. 地理空間, **13**(3), 271-274.

山下清海 (2022): オーストラリアにおける華人社会の変容—シドニーおよびメルボルンの新旧チャイナタウンを中心に. 地球環境研究, **24**, 79-93.

〔その他〕(2017年度, 立正大学着任以降のみ記載)

山下清海 (2017): 中国の延辺朝鮮族自治州—図們江の中朝国境地帯を巡る. E-journal GEO, **12**(2), 301-308.

山下清海 (2018): 世界のチャイナタウンは今① 変容する華人社会とニューチャイナタウンの形成. 東方 (東方書店), **447**, 14-15.

山下清海 (2018): 世界のチャイナタウンは今② 池袋の次は埼玉県西川口. 東方, **448**, 14-15.

山下清海 (2018): 世界のチャイナタウンは今③ 中国の海外進出とチャイナタウンの新たな形成. 東方, **449**, 14-15.

山下清海 (2019): [書評] 加賀美雅弘著『食で読み解くヨーロッパ—地理研究の現場から』(朝倉書店, 2018年), 人文地理, **71**(2), 206-207.

横山貴史・山下清海 (2019): ハルビンと北京をめぐる巡検—2018年度立正大学地理学科「海外地域調査法およびフィールドワーク」の実践報告. 地域研究, **59**, 19-25.

山下清海 (2020): 2019年学界展望 社会地理. 人文地理, **72**(3), 232-236.

山下清海 (2020): 中国に出現したナブのニセ歌舞伎町とその後. サンデー毎日, 2020年12月13日号, 104-107.

山下清海 (2021): ミャンマー, ヤンゴンのチャイナタウン (アジアのチャイナタウンを巡る 第1回). Think Asia (霞山会), **44**, 12-15.

山下清海 (2021): インド, コルカタのチャイナタウン (アジアのチャイナタウンを巡る 第2回). Think Asia, **45**, 12-15.

山下清海 (2021): マレーシア, クアラルンプールのチャイナタウン (アジアのチャイナタウンを巡る 第3回). Think Asia, **46**, 12-15.

山下清海 (2021): [書評] 戸井田克己著:『大潟村物語—新生の大地・湖底のふるさと』. 地理空間, **14**(1), 73-75.

科学研究費補助金等の獲得 (個人または研究代表者のみ記載)

1984年度 科学研究費補助金, 奨励研究 (A), [個人]

日本の開港都市における華僑の適応様式に関する文化地理学的研究

1985年度 科学研究費補助金, 奨励研究 (A), [個人]

日本における中華街 (南京町) の形成と変容

1987年度 科学研究費補助金, 研究成果公開促進費

山下清海著『シンガポールの華人社会』大明堂

1988年度 福武学術文化振興財団研究助成, [個人]

広東・福建地方の僑郷 (華僑のふるさと) に関する社会地理学的研究

1989~1990年度 科学研究費補助金, 一般研究 (C), [個人]

在日華僑社会の地域的特色に関する文化地理学的研究—東南アジアとの比較検討

1993年度 科学研究費補助金, 一般研究 (C), [個人]

在日中国人の人口増加と生活様式に関する社会・文化地理学的研究

- 1995年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (C), [個人]
アメリカ・東南アジア・日本におけるチャイナタウンの変容に関する比較研究
- 1996年度 食文化研究助成 (味の素食の文化センター), [個人]
東南アジア華人社会における華南の伝統的食文化とその変容
- 1999~2001年度 科学研究費補助金, 基盤研究C (2), [個人]
世界のチャイナタウンの地域性と類型化
- 2002~2004年度 科学研究費補助金, 基盤研究C (2), [個人]
グローバル化に伴う海外華人社会の動態—新移民と再移住—
- 2005年度 福武学術文化振興財団研究助成, [個人]
日中友好のシンボルとしての池袋チャイナタウンの振興に関する応用地理学的研究
- 2006~2009年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (A)
日本におけるエスニック地理学の構築のための理論的および実証的研究
- 2006~2008年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (B) (海外学術調査)
増加する華人ニューカマーズの中国における送付プロセスの解明
- 2006~2007年度 科学研究費補助金, 萌芽研究, [個人]
バブル経済崩壊後の日本における「新中華街」の設立に関する経済・文化地理学的研究
- 2009~2012年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (B)
中国における日本への新華僑の送付システムに関する研究
- 2011~2014年度 科学研究費補助金基盤研究 (A)
日本社会の多民族化に向けたエスニック・コンフリクトに関する応用地理学的研究
- 2014年度 科学研究費補助金, 研究成果公開促進費, 学術図書
山下清海編『改革開放後の中国僑郷—在日老華僑・新華僑の出身地の変容』明石書店
- 2014~2016年度 科学研究費補助金, 挑戦的萌芽研究, [個人]
エスニック集団のホスト社会への適応における借り傘戦略の実証的・理論的研究
- 2015年度 日本地理学会出版助成
山下清海編『世界と日本の移民エスニック集団とホスト社会—日本社会の多文化化に向けたエスニック・コンフリクト研究』明石書店
- 2017~2021年度 科学研究費補助金, 基盤研究 (B)
地域活性化におけるエスニック資源の活用の可能性に関する応用地理学的研究
- 2018年度 科学研究費補助金, 研究成果公開促進費, 学術図書
山下清海『世界のチャイナタウンの形成と変容—フィールドワークから華人社会を探究する』明石書店

